



神奈川県労働局発表  
平成28年11月28日

神奈川県労働局労働基準部安全課

課長 原田 聡

安全専門官 吉田 光幸

電話 045(211)7352

FAX 045(211)0048

## 神奈川県労働局長が建設工事現場をパトロールします

～建設業「安全の見える化」推進重点期間(12月・1月)の一環で～

神奈川県労働局(局長 藤永芳樹)では、建設工事現場内の残存リスクについて、目に見える形にするにより効果的に労働災害防止を展開する「安全の見える化」の推進に取り組んでいるところです。このたび、工事現場における進捗管理が難しくなりやすい12月、1月の2か月間を『建設業「安全の見える化」推進重点期間』として、建設業の労働災害の防止に取り組むことにしています。(別添1リーフレット参照)

特に、今回は、建設業への女性の進出が促進されるように、女性にとって働きやすい職場環境づくりが進められているかという視点も加え、雇用環境・均等部の女性担当官も参加して、以下のとおりパトロールを実施することとします。

### 1 パトロールの概要

(1) 日 時 平成28年12月2日(金) 午前10時から午前11時50分まで

#### (2) 工事現場

名 称 相鉄・東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事(その2工事)  
施工監理 横浜市交通局 新横浜工事事務所  
施工者 鹿島・鉄建・不動テトラ・NB建設共同企業体  
工事事務所 横浜市港北区新横浜2丁目5-14 WISE NEXT 新横浜2F  
現場所在地 横浜市港北区新横浜2丁目4-16 地先から同3丁目7-2地先まで

(3) 工事概要 相鉄・東急直通線において新設される新駅全長330mのうち、横浜市営地下鉄新横浜駅との交差部(既存地下鉄新横浜駅の下部)約80m区間について、新駅築造のための掘削、支保工構築等を行う。

### 2 取材等

パトロールは公開で実施します。現場取材を希望される場合は、TEL又はFAXにより、事前に神奈川県労働局安全課に連絡願います。(報道機関に対しての公開パトロール)

# 建設業「安全の見える化」推進重点期間

別添1

神奈川県労働局・各労働基準監督署

## Visualization of risk for



平成28年12月1日から  
平成29年1月31日まで

「安全の見える化」とは日頃取り組んでいる安全活動や職場にひそむ危険などを目に見える形にすることにより、効果的に災害防止を推進する取組です。「見える化」することにより、労働者の安全意識が高まり、安全活動の活性化の効果が期待できます。

### 安全帯使用の見える化（墜落・転落災害防止）



安全帯のフックに赤色の蛍光マーカーをし、安全帯の使用状況を職長等から見て判るようにしている。

現場内で作業員の目に付く場所に、その現場の写真とイラストで安全帯のフックを掛ける範囲を示している。

### ハーネス型安全帯の使用の推奨



### 安全通路の見える化（安全通路の確保・明示）



通路はカラーコーン、コーンバーで区分するだけでなく、通路床部分に緑色のマットを設置し、作業通路であることを明示している。マットは滑り止めの役割もある。

### 段差の見える化（転倒災害防止）



床面の段差について壁側面に表示をし、段差箇所（上面と側面）に黄色の蛍光色のラインを引き、分かりやすくしている。

床面の段差箇所床面に「段差よいか！ 段差よし！」と「足元注意！！」の表示をし、指差呼称をしてから通行するようにしている。

### 立入禁止区域の見える化



関係者以外の立入禁止を大型表示し、立入禁止理由が型枠支保工の解体作業中であることも明示される。

### 作業内容の見える化



現場内で行うガス溶接等作業を表示し、他の業務を行う作業者に対して注意喚起をしている。